令和６年度　南信州広域連合自立支援協議会仕事部会活動報告

１　令和６年度の活動目標

飯伊圏域における障がい者の雇用促進、定着安定のため、関係機関との連携をはかりつつ以下の活動を行う。

(1) 関係機関との連携を深めより地域に根差した就労支援をはかる。

(2) 精神・発達障害者の就労支援において医療関係者との連携をより強化し、協働ネットワークの充実をはかる。

(3) 企業が求める労働者の姿、障がい者雇用の実際を企業と共に学ぶ機会をつくり、障がい者雇用の促進に努める。

２　部会の開催日程及び取組内容

年５回　概ね奇数月の第３水曜日　午後１時30分から午後３時00分

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催月日 | 参加者 | 内容等 |
| 第１回５月22日（水） | 34名 | 三役承認　部会員・事業所紹介　事業計画案検討その他（ハローワーク、養護学校より） |
| 第２回７月17日（水） | 29名 | 事業所見学会就労継続支援A型事業所アップル工房リネン・農産事業部就労継続支援A型事業所ホット |
| 第３回９月25日（水） | 21名 | 研修会「事例から障害者雇用を学ぶ」谷口醸造株式会社、株式会社三州ワイヤーハーネス当事者、担当者による事例発表 |
| 第４回11月27日（水） | 28名 | 学習会「発達障がい者の支援について」事前アンケートをもとにグループトークアドバイザー　飯田病院精神科作業療法士　三石　恭平　氏 |
| 第５回２月26日（水） | 25名 | 年度のまとめ・座談会令和６年度の振り返りと令和７年度の活動検討同業種間での座談会 |

３　活動成果

・事業所見学では、他事業所の作業内容や支援方法などを知る機会となり、新鮮で刺激に　　　　　なったという感想が多かった。

・障がい者雇用をしている企業、本人、支援者からの直接事例発表を直接聞くことにより、企業がどのような配慮をしどんな人材を求めているか、事業所は一般就労へ向け今後のどのような支援が必要かを学べる良い機会となった。

・グループワークを通し、他事業所との意見交換や課題の共有ができ、発達障害者の支援法を医療の立場からアドバイスをしていただき、今後の支援に繋ぐ学習となった。また、同業者間での座談会を行い、同じ悩みの共有や情報交換でき良い学びになった。

４　次年度に向けて検討すべき課題等

・就労選択支援が令和７年10月から実施される為、国や県の動向について圏域全体で周知、情報共有する研修や機会を設けていく。

・圏域内の障がい者雇用求人は限られており、引き続き新規企業の開拓をしていく必要がある。　　　　　ハローワークを中心として今後も企業へ働きかけていく。

　・部会員の業種や職種が幅広く、様々な角度から状況を知ることができるが、一方同種や同業種とより深く討議できる機会を作り、横の繋がりを広げていく。